



豊中高校PTA人権研修講座



《日時》平成28年10月15日（土曜日）10時00分～12時00分 《場所》府立豊中高校

● 豊中高校PTA人権研修講座「高校生の自尊感情を育む会話術～心に響くほめ方～」

今年度、豊中高校ではPTA人権講座に、神戸親和女子大学 古川知子教授を講師として招き、子どもの自尊感情を育む内容で親まなび講座を実施しました。

講座の実施に当たっては、PTA役員の方々が主体的に、企画、調整、広報、運営を担い、当日は申込み以上の保護者が集まり、和やかな雰囲気の中、活気ある学びの機会となりました。

講座では、理論より、家庭ですぐに実践できる内容として、子どもの自信や意欲につながる、心に響くようなほめ方などの会話術を、ワークショップを取り入れながら実践していきました。

		
「高校生の自尊感情を育む会話術」と題して、PTA人権研修講座が開催され、77名の保護者が参加されました。	最初に、平野校長先生のあいさつとウクレレ演奏で場の雰囲気が和みました。校長先生の先導により「縦の糸はあなた、横の糸は私」を、参加者皆さんで口ずさみました。	講師の古川教授から、「理論より家に帰って活かしてもらいたい内容をお届けしたい」とのメッセージから、講座がスタートしました。
		
自己紹介用紙に「最近うれしかったこと」等を記入し、それを使って、アイスブレイキング、ペアづくり、自己紹介、傾聴体験を行いました。	子どもどの場面（存在、行動、所有等）でほめるのか、個々で、子どものいいところ探しの後、子ども役、親役になってロールプレイングを行いました。	結びに、古川教授より、「認める言葉（ありがとうなど）」「様々な場面でのほめる言葉」についてと「学びに向かう力」について、ご教示いただきました。

● 参加者の感想（一部）

- ・子どもの立場になって「認めてもらう」体験は新鮮でした。結果に関係なく「認める」ことが大事だと思いました。
- ・子どもの立場、気持ちにも少し近づいた気がします。楽しく勉強でき気づきがあり、家でもやってみます。
- ・「ありがとう」は言ってるが、「ほめる」ことはしていないと感じました。「ほめる」ところを見つけるのは大変でした。
- ・子どもとの関わり方、声のかけ方など、普段考えていないことを考える時間となりました。
- ・自分を認めてもらうこと、心がすっとして晴れました。
- ・参加型のペアワークをすることで気づくことが多かった。

